



2020年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社パイオラックス
代表者名 代表取締役社長 島津 幸彦
(コード: 5988 東証第一部)
問 合 せ 先 経営管理部長 永島 亨
(TEL. 045-731-1211)

第104期定時株主総会の継続会の開催方針に関するお知らせ

当社は、2020年5月12日開催の取締役会において、以下のとおり、第104期定時株主総会の継続会の開催方針を決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 定時株主総会の継続会の開催方針を決定した理由

当社は2020年6月24日開催の第104期定時株主総会（以下「本総会」といいます。）の目的事項のうち、報告事項である「第104期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件」及び「第104期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）計算書類の内容報告の件」に関して所定の手続きを経たのち、本総会において株主の皆様にご報告する予定でございました。

しかしながら、2020年4月24日付適時開示にてお知らせいたしました「2020年3月期決算発表の延期に関するお知らせ」のとおり、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う各国政府の感染拡大防止措置により、インドにある当社連結子会社の決算・監査手続きに遅れが生じ、現時点で連結決算内容を確定できていない状況が続いております。その結果、当社の連結会計処理に係る作業も遅延することになりました。

そのため、新たな基準日を設け定時株主総会の開催日を延期することも選択肢の一つではございましたが、当社定款で定められた期間に定時株主総会を開催し、剰余金処分決議等を先行で実施すること、報告事項については確定次第速やかに本総会の継続会（以下、「本継続会」といいます。）を開催することが株主様の権利を守る事につながると考え、継続会開催方針を決定いたしました。また、本継続会の日時及び開催場所の決定を取締役会にご一任願うこと（以下、「本提案」といいます。）に関しまして、本総会において株主の皆様にお諮りする予定であります。本総会において、本提案をご承認いただきましたら、当社は本継続会の開催ご通知を株主の皆様へ別途送付し、本継続会を開催させていただく所存であります。

2. 定時株主総会の開催概要等

(1) 定時株主総会の開催概要

- a. 日 時 : 2020年6月24日（水曜日） 午前10時
- b. 場 所 : 横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地 横浜ビジネスパークウエストタワー 7階 大会議室
- c. 目的事項 : 決議事項
 - 第1号議案 剰余金の処分の件
 - 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）6名選任の件
 - 第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件
 - 第4号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

(2) 継続会の開催概要

当社は、第104期定時株主総会において、会社法第317条に基づき株主総会の「続行」の決議を行う方針とします。当該決議に基づく継続会の開催概要は以下のとおりです。

- a. 日 時 : 未定
- b. 場 所 : 未定
- c. 目的事項 : 報告事項

- ①. 第104期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)
事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
- ②. 第104期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)
計算書類の内容報告の件

(3) 新型コロナウイルス感染症の拡大抑制のための株主への要請事項

本総会及び本継続会を開催するにあたり、新型コロナウイルス対策として、当社としても3密を避ける対応の検討を実施いたします。開催日当日に咳及び体調が優れないなどの症状がある株主様については入場をお断りさせていただく場合がございます。また会場の入場制限などの実施も検討しております。

株主様におかれましては書面の投函及びインターネットを使用する議案投票も可能ですのでご留意頂きますようお願いいたします。

3. 期末配当に関する事項

(1) 期末配当に係る配当基準日の変更の有無

配当基準日の変更はいたしません。

(2) その他配当に関して決定した事項

本日、別途開示いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご確認ください。

(参考) 直前に公表した配当予想の内容

| | 第2四半期末 | 期 末 | 合 計 |
|--------------------------|--------|--------|--------|
| 直 前 予 想 (2019年5月9日開示) | | 22円50銭 | 45円00銭 |
| 当 期 実 績 | 22円50銭 | 22円50銭 | 45円00銭 |
| 前 期 実 績 (2019年3月期) | 22円50銭 | 22円50銭 | 45円00銭 |

4. 今後の見通し(新型コロナウイルス感染症による事業活動への影響等)

新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大する中で、当社グループの主要なお取引先である自動車業界も減産傾向にあることから、今後当社の業績に影響がでることが考えられます。

当社といたしましては、引き続き日本及び諸外国の関連情報を集めて慎重に検討し、諸状況が判明次第、適時開示を検討して参ります。

以 上